

♪♪♪♪♪ 中京区ボランティアセンター情報 ♪♪♪♪♪

ユースアクション2011のお知らせ

〈中京区青少年の福祉体験事業〉

夏休み期間中、社会福祉施設等でボランティア体験してみませんか？

対象

- ①中京区内在住の中学生・高校生、または同年齢の青少年
- ②中京区内の中学・高校に通学している生徒
- ③その他（専門学校生・大学生については、定員の限りで受け入れる）

期間

平成23年8月1日(月)～8月12日(金)

※事前交流会：7月29日(金)
事後交流会：8月17日(水)

申込方法

★パンフレットから体験を希望する施設を選択し、申し込みしてください。
申込み締切り：7月8日(金)

*パンフレット請求は、中京区社会福祉協議会までご連絡ください。TEL.822-1011まで

ボランティア入門講座のお知らせ

はじめの
一歩!

今年度も下記の4つの入門講座を予定しています。申込み方法や詳細につきましては、区社協ホームページ、町内回覧板や掲示板、区民しんぶん等で随時お知らせいたします。関心のある方は、ぜひお問い合わせください。

手話教室(昼の部・夜の部) 開催時期：11月

聴覚に障がいのある方のコミュニケーションの方法を学びます。当事者の方々と交流を通して普段の生活や思いを知り、手話の基礎を実践的に学ぶことが出来る講座です。

中京区介護ボランティア養成講座 開催時期：10月頃

介護を必要とする方の状況を知り、その生活や気持ちを学びます。介護に係わるボランティアグループや施設での体験ができるため、すぐにボランティア活動をはじめられることもできます。

点字入門講座 開催時期：2月頃

視覚に障がいのある方を正しく理解し、点字をはじめとした視覚に障がいのある方への支援の方法を学ぶ講座です。

要約筆記入門講座 開催時期：3月頃

難聴者や中途失聴者の方に文字を通して情報を提供する要約筆記。意外に知らない方も多いようです。言葉を文字で伝える体験を通して、聴覚に障がいのある方を正しく理解しましょう。

東日本大震災義援金募金箱を
区社協に設置しています。

皆さまの温かいご支援、ご協力のおかげで、平成23年6月2日現在で、410,981円の義援金が集まっております。

お預かりしました義援金は京都市社協を通じ、被災地へ寄付させていただきます。

義援金の受付は引き続き行っておりますので、今後も被災者救援へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

中京社協のホームページが
リニューアルしました!

学区社協活動の情報発信や区社協からのお知らせを「タイムリーに、見やすく、分かりやすく」伝えるホームページにリニューアルしました。

べんがら
ごうし
nakagyo

編集・発行

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会
〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2
TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829 <http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06>

～つながり・ささえ・ふれあう
中京のまち(^0^)-

2011年6月発行

35号



学生力を地域に活かそう!

中京社協では、学生のエネルギーを地域福祉活動に
活かす場を創出する事業に取り組んでいます。

現在、中京区社会福祉協議会では、つながり・ささえ・ふれあう中京のまちを
基本理念に、2008年に策定した中京区地域福祉活動計画(第二次プラン)に
基づいて、様々な事業や取り組みを展開しています。

京都市は「学生のまち」と言われるように、学生による主体的な活動が活発に行われている地域です。ここ中京区でも近年、大学・大学院等の新キャンパスが誕生し、学生人口が増加しています。学生の中には、機会があれば何らかのボランティアをしたいと思っている人が多いという報告があがっておりますし、地域からも若者の力を求めるたくさんの声があります。中京社協では、現在、地域と学生を繋げるべく、試行錯誤しながら様々な取り組みを進めています。



2010年8月6日 京都新聞提供



本紙は共同募金の配分金によって
つくられています。

『活動の担い手づくり』学生の地域福祉活動への参加促進を進める取り組み

当日は、花園大学の学生さんに事例発表もして頂きました。

花園大学の社会福祉学部の授業の一環で、学生のボランティア意識調査を実施されたところ、「今後機会があればボランティアをしてもいいと思うか?」の問いには、91%の学生が「してもよい」と答えたが、実際に「今までボランティアを経験したことがあるか」の問いには、「ある」と答えた学生が51.6%と全体の約半分だったとの報告がありました。



中京区福祉のまちづくりを考える区民集会～学生との協働による地域福祉の展望～
平成22年11月22日(月) in ハートピア京都
川島ゆり子氏 (花園大学 社会福祉学部専任講師) 基調報告より

このような結果が示すように、これまで十分に活かしきれていなかった学生の力を地域福祉活動に活用するため、中京社協では以下のような事業から取り組みを始めています。



1 実施報告

「地域福祉×学生×浴衣」プロジェクト



昨年8月、花園大(京都市中京区)の学生が、高齢者サロンなどの地域行事に参加し、お年寄りや地域の方々と交流する取り組みを実施しました。当日は、京裳庵の協力により学生が浴衣姿で参加し、着物文化に触れながら地域の方々との交流を楽しみました。地域の方々から大変喜んで頂くことができ、今後このような機会を増やしていくことで、学生のエネルギーを地域福祉の促進につなげていきたいと思えます。

●協力：田の字地区活性化実行委員会・街着レンタル京裳庵



生祥学区の高齢者サロンにて、記念撮影

2 実施中

「学生ボランティア活動の実態調査」実施中!



学生の皆さんが自主的に取り組む「ボランティア活動」や「サークル活動」が活性化している中、その活動内容を知るための調査と集約を行い、学生の皆さんの多彩な能力とエネルギーを、様々な地域活動や課題解決等に結びつける取り組みを行う予定です。

学生×地域
学生ボランティア活動の実態調査 実施中

活動に取り組まれている学生皆さんと地域をつなげます!
調査へのご協力お願いします!!

⇒お問い合わせ(電話番号: 075-822-1011)
中京区社会福祉協議会 中京区ボランティアセンター

ポスターをつくって、PRしています。

福祉学習・啓発の機会の充実

中京社協では、地域福祉活動を担う未来の人材を育成するための福祉教育事業にも取り組んでいます。



1 実施報告

青少年の福祉体験事業(ユースアクション)



区内の中高校生等が夏休み期間中に社会福祉施設でボランティア体験を行う事業です。子どもたちが異なる年齢の方々とふれあいを通じて、社会や人につながる貴重な体験になっています。

昨年度は、延べ73名(実人数68名)の青少年が、区内23の福祉施設で体験を行いました。

3 実施報告

小学生向けプロジェクト「缶入りパンを作ろう！」



災害時の非常食として販売されている「缶入りパン」の工夫を知ることで、災害時の要配慮者に対する理解を深めること等を目的に、昨年9月10日、区内の作業所(缶入りパン製造センター)職員や当事者とともに小学校向けプログラムを企画し、「朱雀第一小学校」で実施しました。

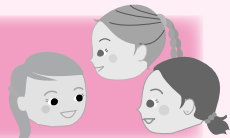
当日は、作業所で働く当事者の方々が講師役になることで、自然な交流から知的障害者に対する理解を深めることもでき、地域にある福祉施設と学校とのつながりづくりも進みました。

朱雀第一小学校での授業の様子



2 実施報告

小・中学校における福祉教育の推進「地域における福祉教育・ボランティア学習普及事業」



区内小・中学校の福祉教育の授業を利用して、当事者や関係機関・団体が参画し、子どもたちが当事者理解を深め、興味関心を持つ機会を提供する事業を行いました。

昨年度は小学校3校、中学校5校で実施し、地域の高齢者や障がいのある当事者を授業に招き、講話や交流・体験を進める等の様々な取り組みを行いました。



車イス体験の様子

「コラム」缶入りパンとは

社会福祉法人みやこが製造している、災害時の非常食にぴったりなパンです。

- 缶切りが不要で、いつでもどこでもふっくら焼き立ての味☆
- 1缶に2個入りで、直接パンに触らずに取り出せて衛生的☆
- などの特徴があります。



●缶入りパンについてのお問い合わせ先
缶入りパン製造センター ▶Tel821-7701